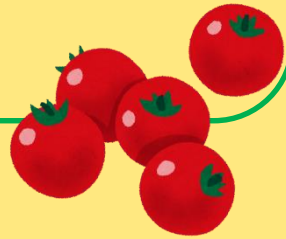


JGAP

JGAPってなに？

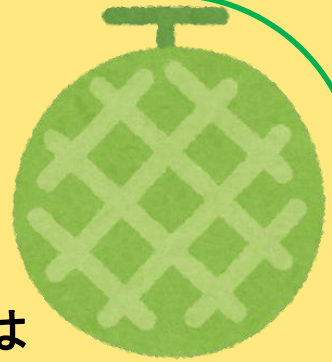
JGAPは、**Japan Good Agricultural Practice**の略で「農業生産行程管理」のことです。

農業の種まき、収穫といった栽培から出荷までの各行程や、生産者が安全に作業するためにルールが定められています。ルールを守って農業に関わる**作業**者、**消費**者、**環境**そして**生き物**に配慮した持続的な農業生産を目指す認証制度です。



本校における取り組み

温室内で栽培している**トマトとメロン**の**2品目**で**青果物のJGAP認証**を取得しました。
(令和元年度)



県内でもJGAP認証を取得しているのは**2校**で本校はその内の1校です。(令和元年度5月時点)

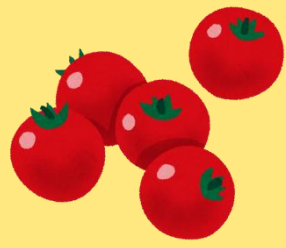
当時の**課題研究の3年生**が中心となって、JGAP認証の取得を目指して活動をしました。認定されるために、普段の作業で危険なことは無いかや危険の見える化、作業場の整理整頓などを行いました。

今後はトマトとメロンに関わる生徒が、JGAP認証に見合う質の高い**管理作業**や**安全意識**を継続する中で身につけていきます。

栽培技術や安全な経営感覚を学びます！



取得までの様子



残留農薬検査の実施



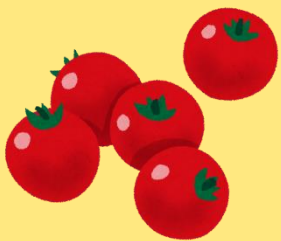
農薬庫の整理

使用する農薬調査（効能、成分等）

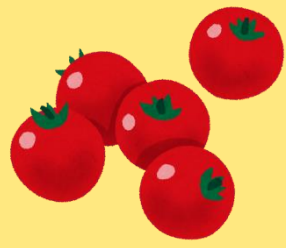


利用井戸水の検査

検査用井戸水の採水



取得までの様子



温室の(注意箇所)見える化

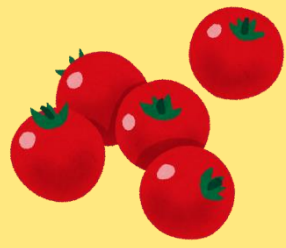


入口や周辺で注意することを
探して注意点が見えるようにします。



温室内の足元や頭上にも
目印をつけて怪我の予防をします

取得までの様子



調整室の見える化



蛍光灯飛散防止シート着用



調整エリアの明確化



残渣、農薬処分場整理

取得後の様子



実習の前後には手洗いをして作業者、作物の安全を守ります。



作業の後には掃除をして清潔に保ちます



傷んだ張り紙は気づいたら交換をします



安心安全な生産を通して整理、整頓、清掃を身につけて高い衛生意識や気づいたら自ら行う自主性の育成を目指します！